

# 令和5年度 諫早市立琴海中学校学校経営方針

令和5年4月3日  
校長 立石 明光

## 1 校訓

自立・協力・忍耐

## 2 学校教育目標

「自ら考え、正しく判断する力をもち、健康でたくましく、  
人間性豊かな生徒の育成」

## 3 めざす生徒像・学校像・教師像

### (1)めざす生徒像

- ① 心身ともに健康でたくましい、自立した生活ができる生徒
- ② お互いの特性を理解し、連帯し、協力・協働する生徒
- ③ 自らの持つ力を信じ、伸ばし、発揮させようと忍耐強く努力する生徒

### (2)学校像「琴海中学校でよかった」と実感できる学校

- ① 自らの成長が実感できる学校(生徒)
- ② 子どもたちが安心して生活し、努力が正当に評価される学校(保護者)
- ③ 学校にあふれる活気を地域に還元できる学校(地域)
- ④ 自らの特長が生かされるとともに、指導力の向上が実感できる学校(職員)

### (3)教師像

- ① 生徒一人一人を大切にしている教師
- ② 教育愛をもち、教育者としての自覚をもって実践する教師
- ③ 協働して、指導力を高め合う教師(チームとして個として)

## 4 教育方針

＜知・徳・体の調和が取れ、生きる力を持つ生徒の育成＞

「琴海中でよかった」と思える学校を目指して

### (1)生徒にとって

- ① 自らの成長を実感できる学校
- ② 努力が報われることが実感できる学校

### (2)保護者にとって

- ① 我が子が安心して生活できる学校
- ② 我が子の心身ともに健やかな成長を実感できる学校
- ③ 我が子が正当に評価されていると感じる学校である。

### (3)地域にとって

- ① 地域の子どもが元気に活動する学校
- ② それが地域の活気につながる学校

### (4)教職員にとって

- ① 全職員のチーム力で、生徒が成長したことを実感できる学校
- ② 自らの指導力向上を実感できる学校

生徒・保護者・地域の信頼関係を得て、また、職員相互の信頼関係を基盤に、  
教育方針の実現を目指す。

## 5 教育理念

### (1)「めざす生徒像」の具現化のために

- ①自立するとは、自らの中に規範を持ち、それに従って行動をコントロールできることである。そのために、まず規範意識を定着させ、さらに周囲に流されたり、妥協してしまったりする自らの弱さと戦う内面的な強さを身につけていなければならない。
- ②協力するとは、二人以上の個のもつ力を結びつけることである。そのために、各自の意見を伝え合い、調整し合うというコミュニケーション能力(対話的学習)が基盤として必要不可欠である。  
さらには、単に一つの作業に全員で取り組むのではなく、一つの目的のために各自がそれぞれの役割を果たすこと(協働)である。そのためには、自己の持ち味を自覚し、他者の持ち味を尊重することが必要である。
- ③忍耐力を身に付けさせるということは、単に耐える精神力をつけることではない。問題の本質や解決のための手段を身につけ、見通しをもちつつ、それらを試行錯誤しながら根気強く目標に向けて取り組む姿勢のことである。

### (2)めざす教師像・学校像の具現化のために

#### ①教育効果を上げるための根幹＝信頼関係

信頼なくしては、いかなる指導技術も言葉も生徒の心には響かない。信頼を得るため、次のことを意識したい。

(ア)日々研究と修養に励み、個の指導力を高める努力を怠らない。

(イ)服務規律の順守(信用失墜行為ゼロ)

#### ②信頼される評価を行うために

評価については、生徒一人一人の成長と努力への評価を本人に返すことで、生徒各自の自己肯定感の向上につなげる。

生徒は失敗して当然である。それに対する指導が、内容によって変わるのは当然である。ただし、単に感情をぶつけるのではなく、次の成長につなげる真の「指導」を心掛けたい。

#### ③チームとして対応

個に頼った指導は、一人が欠けただけで破綻をきたす不安定なものである。

また、単一視点の判断では適切な判断ができないことも多い。

チームとして機能する教職員集団を目指す。

#### ④常に改善と向上の工夫を意識